

報道関係者 各位

金型部品のパンチ工業、ベトナム工場に太陽光発電パネルを設置

カーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーの活用を推進

パンチ工業株式会社は、2023年7月、グループ会社である PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD. (以下、ベトナム工場)の屋根に太陽光発電パネルを設置し、稼働を開始しました。

ベトナム工場で使用する電力の約3割をまかなう予定で、年間で約415トンのCO2排出量削減を見込んでいます。パンチグループでは、サステナビリティ委員会や各部門での取組みを通じて、経営基盤の強化策の一つとして掲げている「サステナビリティ」の推進を図ることで、社会・地球環境へ貢献するとともに、さらなる企業価値の向上を目指します。

太陽光発電パネルの概要

設置場所	: PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.
所在地	: Lot B_6E1_CN, My Phuoc 3 Industrial Park, Thoi Hoa ward, Ben Cat town, Binh Duong Province, Vietnam(ベトナム ビンズン省)
発電能力	: 238 kWp
年間発電能力	: 約475 MWh (見込み)
CO2 排出削減量	: 約415 トン/年 (見込み)
稼働開始日	: 2023年7月



なお、ベトナム工場に先駆け、当社グループでは2018年よりマレーシア工場の屋上に太陽光発電パネルを設置しています。年間で約130トンのCO2排出削減効果があり、工場内の電力源として使用するほか、余剰となった電力は現地の電力会社に販売しています。

設置場所	: PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
所在地	: Nagasari Industrial Park No.3061 Jalan Nagasari1 Prai Industry Zone Prai Penang 13600 Malaysia(マレーシア ペナン州)
発電能力	: 145 kWp
年間発電量	: 約180 MWh
CO2 排出削減量	: 約130 トン/年
稼働開始日	: 2018年11月

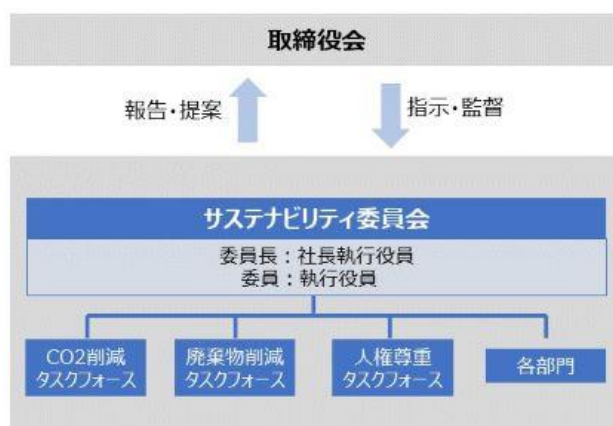


サステナビリティ委員会の設置

当社グループでは、持続可能な社会の実現に向けた取組みの強化を図るため、2022年7月より「サステナビリティ委員会」を設置しています。「サステナビリティ委員会」は、代表取締役社長執行役員CEOを委員長とし、委員として業務執行取締役および執行役員により構成されます。サステナビリティに関する基本方針の策定やマテリアリティ（重点課題）の特定、マテリアリティごとの活動計画や目標設定ならびにその進捗管理、そしてそれらの情報開示に関する事項等の審議および業務指示を行い、定期的に取り締役会へ報告・提案を行います。

また、同委員会配下の「CO2削減」「廃棄物削減」「人権尊重」に関する国内外の部門横断チーム「タスクフォース」は、それぞれのタスクの進捗管理と、各マテリアリティへの取組みの実務を担っています。

今回のベトナム工場への太陽光パネル設置についても、「CO2削減」タスクフォースを中心に準備を進め、設置に至りました。



パンチグループでの地球環境への配慮の取組み

CO2 排出量削減、廃棄物排出量削減、リユース、リサイクル推進などに取組みます。また、環境に配慮した製品・サービスを提供し、地球環境を大切に作る社会づくりに貢献します。

主な取組み	評価指標 (KPI)	目標
CO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量	① 2030 年までに 2018 年度比 30%削減 (当社) (2018 年度 38,295 t CO ₂ Scope 1・2) ② 2050 年グループ全体でカーボンニュートラル
廃棄物削減	産業廃棄物の発生量	2030 年までに 2018 年度比 30%削減 (当社) (廃棄物発生量原単位: 2018 年 1.193) ・アルカリ廃液等削減、リサイクル化 ・梱包資材削減 ・不要運送パレットのリサイクル化 ・コピー用紙使用量削減
有害物質管理	RoHS 6 物質 フタル酸エステル 4 物質	欧州の電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS 指令) で規制する物質を含む商品は販売しない (当社)

【パレットのリサイクル化】

これまで、産業廃棄物として処分していた使用済みパレットを、専門業者による引き取りとすることで廃棄物を削減しました。引き取られたパレットは、リユースパレットやリサイクル原料として活用されています。



【梱包材の削減】

グループ会社間において、製品や材料発送時に使用するエアクッションなどの緩衝材や段ボールなどの梱包材の低減に向けて取組んでいます。また、お客様に製品を発送する際も、最適なサイズの段ボール箱の使用徹底や過剰包装を防ぐための社員教育に取り組んでいます。

【デジタルツールの活用、ペーパーレス化促進】

国内や海外の全拠点において、Web 会議システムを導入することで出張による CO2 排出を抑制しています。また、社内の各種申請書などの紙書類の電子化や、一部の部署においては無線 LAN、ノートパソコン導入によるフロア内のモバイルワーク化を実施し、会議資料等の紙媒体での配付を廃止しています。

また、国内の営業拠点においては、FAX と複合機の連携ツールを導入することで、お客様から FAX でいただく注文を電子化・効率化しています。導入前との比較で、国内営業拠点全体で印刷枚数を 30%以上削減するなどの効果が得られています。

■会社概要

社名：パンチ工業株式会社
 代表：代表取締役/社長執行役員 森久保 哲司
 所在地：東京都品川区南大井 6 丁目 22 番 7 号 大森ベルポート E 館 5 階
 創業：1975 年
 売上高：427 億円 (2023 年 3 月期)
 従業員数：3,923 名
 URL：<https://www.punch.co.jp/>
 事業内容：金型部品の製造・販売及び金型関連の付属品販売

社名に込められた意味：パンチ工業という社名は、創業の製品であるプリント基板用穴あけパンチの「パンチ」と、活力にあふれた「パンチ」の効いた会社という意味が込められています。

会社ロゴマークに込められた意味：ゲンコツマークは、「商品である金型用パンチ/ピンと企業としての勢い」を表現しており、斜線は、「稲妻のごとく業界に新風を送らんとする」意気込みを表現しています。



パンチ工業株式会社